

監督：青山真治『EUREKA ユリイカ』『東京公園』
原作：田中慎弥 第二四六回 芥川賞受賞
衝撃のコラボレーション！

共喰い

出演：菅田将暉 木下美咲 篠原友希子 光石研 / 田中裕子
監督：青山真治 原作：田中慎弥「共喰い」集英社文庫刊 脚本：荒井晴彦 プロデューサー：甲斐真樹
制作プロダクション：スタイルジャム 製作：「共喰い」製作委員会 配給：ビターズ・エンド

母さん、なんで僕を生んだのですか？
あの男の血をひく僕を――。

R15+

www.tomogui-movie.jp

©田中慎弥／集英社・2012「共喰い」製作委員会

第二四六回芥川賞受賞作、田中慎弥の『共喰い』を映画化!! カンヌ受賞監督・青山真治が描く、人間の奥底に潜む深い深い闇。

日本を代表する

世界的映画監督・青山真治と、

芥川賞受賞会見で

世間をにぎわせた作家・田中慎弥との

奇跡のコラボレーションが実現!!

昭和最後の夏の山口県下関市を舞台に、

「行為の際に女を殴る」性癖のある父と、

その愛人と暮らす男子高校生のひと夏の物語を、

なまなましくも格調高く描く。

父と同じ忌まわしい血を受け継ぎ、

爆発しそうな性的欲求を抱えて生きる

主人公・遠馬と彼を取りまく女たち――

幼なじみの彼女、父の愛人、

そして戦争で左手を失った母。

男たちは欲望をむきだしに、

女たちは本音を包み隠してたたかに生きる。

暴力と性、人間の奥底に潜む

深い深い闇があぶりだされていき、

物語は原作にはないオリジナルのエンディングへ――。

いわゆる「原作モノ」の枠を越えた

傑作が誕生した。映画『共喰い』は

近年稀にみる「本物の映画」である。



www.tomogui-movie.jp

R15+

出演: 菅田将暉 水下美咲 藤原友希子 光石研 / 田中裕子 監督: 青山真治 原作: 田中慎弥『共喰い』(集英社文庫刊) 脚本: 荒井晴彦

プロデューサー: 甲斐真樹 制作プロダクション: スタイルジャム 製作: 『共喰い』製作委員会 配給: ビターズ・エンド ©田中慎弥・集英社・2012『共喰い』製作委員会

田中慎弥

私が物語のクライマックス近くに書いた幻想的な場面を、映画は全く違う形で描いています。
ここを見た時、ああ、やられた、と思いました。
この場面はこういう風に描かれるべきだった、だからこそあのクライマックスが成立するんじゃないか、と悔しくなりました。
さらに、小説の結末を越えたところまで、映画はすくい取ってくれています。
それは実のところ、私も書くこととしていたことでした。
思い切ってその手前で小説を終らせることで、作家としては達成感がありました。
ですが映画はその先を追いかけて、
大きな生命力へと到達する女たちを出現させました。

9/7(土)より全国ロードショー!